

麻生区区民会議 第10回専門部会 市民活動・絆づくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成29年9月28日（木）午後3時～午後5時
- 2 開催場所：麻生区役所 第4会議室
- 3 出席者：[専門部会委員] 植木昌昭委員、緒方保委員、海崎眞委員、佐藤昇平委員、佐野幸子委員、鈴木隆広委員（部会長）、関根秀勝委員、高橋慶子委員（副部会長）、松田通委員
[事務局] 企画課 安藤課長、福島係長、榎本 [コンサルタント] 中島、永野

4 傍聴者：0名

5 議 題：

1. 企画部会からの報告について

- ・部会長より第7回企画部会の内容報告が行われた。

2. 調査・審議課題の検討について

(1) 前回の審議内容の振り返り

- ・『市民活動・絆づくり部会』における前回の審議内容を振り返った。

(2) キックオフイベントのプログラムについて

1) 子育て世代に向けて伝えたい内容の検討

【今後の方向性】

- | |
|---|
| ・キックオフイベントの開催趣旨は、麻生区の地域資源を「知ろう・つながろう」、その上で地域を知り、つながることで「楽しもう」という概念であることを確認した。 |
|---|

【主な意見】

- ・農業体験、小学校やこども文化センター等の既存イベントに地域活動の楽しさや身近であることを感じるのではないか。
- ・身近さという意味では、同世代やそのもう少し上の世代など、子育て世代に近い人が活動している団体等を紹介するのも良いのではないか。
- ・身近さを感じてもらうためには、一緒になって楽しめるような参加型、体験型のプログラムが必要なのでは。
- ・イベントを何のために行うのかについて共有を図る必要があるのではないか。麻生区の地域資源を知ろう、つながろう、その上で、地域とつながることが楽しいということを知ってもらう必要がある。
- ・入場者、参加団体に対するアンケート調査等を行い、成果を検証する必要があるのではないか。

- ・イベントに来た人を地域活動につなげる工夫も必要。

2) プログラムの検討

【今後の方向性】

- ・ 今後はイベントの骨格（仕様書・企画書のようなイメージ）を固め、その上でテーマをカテゴライズし、具体的なプログラム内容について決定することとした。
- ・ 現時点ではテーマを定め、テーマごとのブースを作成するとともに、時間制でブースによるプレゼンを行うというプログラムが意見として出された。

【主な意見】

- ・ やまゆりの寺子屋事業のようなものを一部でもできたら良い。・ 寺子屋事業の開催には学校の理解があるが、学校を動かすには父兄の盛り上がりが必要となる。そのため、このイベントで子育て世代に寺子屋事業を紹介できたら良い。
- ・ 新ゆりアートパークス、区民記者などの活動を紹介し、ちょっとやってみませんかと参加を促すようなプログラムも良いのではないか。具体的な活動事例を出した方が子育て世代の方がイメージつきやすい。
- ・ 会場の規模からして、できることと、できないことを踏まえて検討する必要がある。
- ・ イベントの骨格を固めていかないとプログラムの内容が定まっていけない。
- ・ 自然、農、遊び、学び、健康、芸術等というようなテーマを定め、ブースを設定するのも良い。
- ・ テーマごとのブースによる時間制のプレゼンはどうか。

3. その他

- ・ 市民文化局（中村コミュニティ推進部長、藤井協働・連携推進課長、区政推進課 山崎課長、金子係長）から、区民会議等の今後の方向性についての説明及び質疑応答が行われた。
- ・ 次回は10月26日（木）に開催すること、11月、12月の開催日程は別途調整することとした。

以 上